

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : ウェスト・ロサンゼルス大学

留学期間 : 平成 26 年 8 月 11 日 ~ 平成 30 年 6 月

アメリカに留学してから 1 年ぐらい経ちました。だんだんと生活には慣れてきましたが、やはり日本が住みやすいと未だに考えてしまうのが本音ではあります。これもひとつ、留学してよかったな、というか気付かされたな、と思うことです。日本に vacation で帰るときに、改めて日本が良い国だと思います。それは自分が慣れ親しんだからかもしれませんが、日本を訪れたことのある外国人が口をそろえて、日本は最高だ！というように、なんとなくではありますが誇りに思います。日本にいて気付かなくて、みんな当たり前になっていることが、実は素晴らしいことなのだと感激します。

例えば、郵便関係のことです。インターネットでのオーダーが増えるこの世の中で、日本の郵送技術は世界一だと言われます。スピードと品物の扱いの丁寧さです。アメリカにいるとよく気付かされます。2 週間たっても、商品が届かないなんてことはよくあることです。予定では 2 日だよ、と言われても 1 週間以上にかかることが普通です。また、届いたときに箱がぼこぼこにされているなんていうようなこともあります。高価な物品、例えば電子製品でも投げられたように庭に置かれているときもあります。日本だと必ずサインが必要だったりと確実に送り先に届けようという意思がとれます。やはり、日本のそのようなサービスは世界一だと実感します。

まもなく、編入学の応募が始まります。自分の志望校は決めていて、準備もしっかりできていますが、初めてのことなので不安でいっぱいです。その上、日本ではあまりない、すべてインターネット上での手続きとなるので新鮮です。応募に必要なことは、その希望する大学の requirement の科目をすべて単位として取得し、なおかつ成績優秀でないといけません。アメリカではあまり、日本でいうセンター試験のようないわゆる入試試験がありません。その代わりに、essay を書いたり、reference を教授に書いてもらったり、学外の試験を受けてその点数を基準にすることが多いです。その中でも、在学期での成績、日本でも使われている基準である GPA を高く保つことが一番重要なことです。また、アメリカでは課外活動やボランティアも重視されています。ボーイスカウトや慈善活動をしていると、より合格につながるそうです。

アメリカでの大学生活は驚かされることばかりです。私の通っている大学は地元の人が大半を占め、また授業料がほかの大学に比べ安いことで有名です。そのせいか、人種も 90% 近くが African Americans と Mexican Americans です。なので、日本人がイメージする、あの白人美男美女が集うマンモス大学ではありませんが、これがアメリカ、カリフォルニアの本当の姿なのだと思います。最近の驚いたこと、もう慣れてしまいましたが、授業中、カップヌードルやお弁当、お菓子を食べながら、授業を聞いている人を多く見ます。また、遅刻して入室してきても、関係なく授業に積極参加できること、その人が来る前に教授が説明したことを手を挙げて質問するなど。日本では、当たり前タブーなことを平気でしてしまうのが初めは不思議でした。やはり、日本で過ごしてきた中で身についた当たり前は日本人としてはなかなかはずすことができ

ず。逆にアメリカ人から、なんで日本人はこんなことするの！？アメリカでは当たり前だよ！と言われることがあるのも事実です。そういった日常生活の中で文化を理解する。自分の留学での目標に近づいてきた気がします。